

## 第3章 第3次地域福祉推進計画

### 1 総合目標と8つの活動目標・・・・・・・・・・・・・・・・

第3次地域福祉推進計画は、「地域共生社会」の実現と安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、

#### 《心をつなぎ、笑顔あふれる安心の地域づくり》

を総合目標に設定しました。この総合目標には、次のような思いが込められています。

##### 心をつなぎ

やさしい心と手を繋いで、孤立のない神河町であるように

##### 笑顔あふれる

みんなの笑顔が、神河町にあふれるように

##### 安心の地域づくり

これから先も安心して住み続けられる地域をつくろう

この総合目標を実現するために、社協と地域住民、関係機関が協働して取り組むものとして8つの活動目標を立てました。

#### 活動目標

- ①「違いを認め合う福祉教育をいろんな世代ですすめよう！」
- ②「ひとりぼっちをつくらない地域にしよう！」
- ③「見守りあい、支えあう仕組みづくりをすすめよう！」
- ④「身近な困りごとをキャッチしてつなごう！」
- ⑤「誰もが活躍する場をつくろう！」
- ⑥「みんなでボランティアの輪をひろげよう！」
- ⑦「先への不安を取り除く福祉活動を展開しよう！」
- ⑧「地域で防災・減災に取り組もう！」

13ページ以降のそれぞれの活動目標で示している〈みんなで〉とは、地域住民、関係機関がそれぞれ考えたりアイデアを出したりしながら進めていく内容です。〈社協で〉は、社協と地域住民、関係機関が互いに協力しながら進めていきます。

### 2 活動を進める2つの視点・・・・・・・・・・・・・・・・

この計画を進めていくうえで、次の2つの視点を大切にしていきたいと思います。

#### ①子どもからシニアまで、みんなで取り組む地域づくり

一人ひとりが“支え手”“受け手”という関係を超えて支えあい、すべての人が力を発揮し活躍することで、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指します。

#### ②みんなで話し合いながらすすめる地域づくり

地域住民や専門職、団体、企業など、多様な主体が持てる力をより発揮するために協議を重ね、連携を深めながら地域づくりを進めます。

活動目標①～⑧

総合目標の実現に向けて、8つの活動目標を設定し取り組みます。

1

高齢者・障害者  
の生活支援

2

子ども・若者の  
生活支援

3

見守りあい、支えあう  
生活づくり

4

困りごとを  
キヤッチ

5

誰もが活躍する  
場づくり

6

みんなで  
ボランティア

7

不安をなくす  
先々の福祉活動

8

高齢者・障害者  
の生活支援

＜活動を進める2つの視点＞

子どもからシニアまで、みんなで取り組む地域づくり  
みんなで話し合いながらすすめる地域づくり



## ① 違いを認め合う福祉教育をいろんな世代ですすめよう！

『地域共生社会』実現の第一歩として、社会には様々な人が暮らしていることを理解したうえで互いの違い＝個性を尊重し、ともに生きていく意識を高める取り組みを進めることが大切です。そのために、あらゆる世代を対象に「学び」「気づき」「共感する」場をつくります。また、すべての人が人として尊ばれ、互いに理解し支え合えるように、福祉への理解や関心を高める学習の取り組みを進めます。

みんなで

●人権教室など、様々な福祉学習に参加し、内容を広く伝えよう。

社協で

活動項目	取り組み内容	連携・協働
① 人権意識を高め合う福祉教育の推進  重点項目	㊦ 人権教室に参画し、当事者理解を広めます。 ★ シニアカレッジなどで福祉や人権、当事者理解についての学習の機会を充実させます。	教育課 地域住民
② 『地域共生社会』の啓発と理解の促進  重点項目	㊦ 福祉出前講座を開催し、住民の身近な場での福祉教育をすすめます。 ★ ボランティア推進活動校 <sup>*1</sup> との連携を強め、互いの個性を尊重する意識の向上を目的とした学習を進めます。	介護サービス事業所 地域住民 学校

### コラム① 『子ども達のボランティア活動』

社協では、町内の小・中・高等学校をボランティア推進活動校に指定し、その活動を支援しています。



学校では、環境美化活動や福祉施設への訪問、地域の高齢者との昔遊びを通じた交流、キャップハンディ、募金活動など、様々な福祉教育を展開し、思いやりの心を育てています。一人ひとりがかけがえない存在として尊重され、孤立や排除のない町にするには、神河町の宝である子ども達の健全な育成を欠かすことはできません。これからも、「学び」「気づき」「共感する」場として、ボランティア推進活動校の活動を支援していきます。



\*1 ボランティア推進活動校… ボランティア活動や思いやりの心を育む福祉教育を積極的に進めることを目的に、神河町すべての小・中・高等学校をボランティア推進活動校に指定している。

## ② ひとりぼっちをつくらない地域にしよう！

地域には様々な事情で孤立しがちな住民が暮らしています。また、田舎であっても人との繋がり  
の希薄化が懸念されています。気になりつつも関わりを持つまでに至っていない人や様々な生き辛  
さを抱えた人を見逃さず、孤立を生まない地域づくりを進めます。また若い世代や転入者にも地域  
行事の意味や面白さを伝えるなど、地域との関わりを持つような働きかけを積極的におこないま  
す。

### みんなで

- 地域の行事に若い世代や転入者を積極的に誘いましょう。
- 子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる行事で、住民同士の繋がりを強めましょう。
- 繋がりづくりの第一歩！ 顔を合わせたらあいさつしたり声をかけ合いましょう。
- みんなが気軽に集まり語り合える集い場をつくりましょう。

### 社協で

活動項目	取り組み内容	連携・協働
① 地域の繋がりの強化 重点項目	☑ 広報紙やケーブルテレビを活用し、あいさ つ運動を啓発します	CATV 地域住民
② 誰もが気軽に参加できる 集い場づくりの推進	★ 地域の身近な場所での集い場づくりを住民 と一緒に進めます。 ★ 当事者組織*2や福祉団体への活動支援を継 続しておこないます。	当事者団体 地域住民 ボランティア

### コラム② 『集いの場がつながりづくりの第一歩』

神河町にはたくさんの集い場があります。集落では、  
ミニデイやふれあい喫茶、体操教室がおこなわれ、  
介護予防や筋力維持に一役買っています。なにより、  
そこに参加することで地域に住む人のつながりが生ま  
れます。

ミニデイは介護予防を目的にした高齢者の集い場です。  
季節の行事を楽しんだり、おしゃべりに花を咲かせたり、  
体操やゲームで身体を動かしたり。最近では、集落では  
なく最寄や隣保ごとに開催するところも増えてきました。

ふれあい喫茶は、高齢者だけでなく若い世代も参加できる世代間交流の場です。他に  
も、老人クラブのグランドゴルフや就学前の子どもと保護者が集まる子育て広場、認知  
症カフェ、障がいを持つ人の集まりなど、たくさんの集い場があちらこちらで開かれて  
います。田舎であっても人とのつながりが希薄になりつつあると言われてはいますが、ま  
ずは集うことから始めていきましょう。



大畑ミニデイ『お達者クラブ』  
豆まきの様子

\*2 当事者組織… 同じような経験を持つ者どうしが集まって、課題を共有し、解決していくための組織。

### ③ 見守りあい、支えあう仕組みづくりをすすめよう！

地域では、少子高齢化と若者の町外流出により単身世帯が増え、昔からの行事の継続が困難になったり、「お互いさま」の気持ちで助け合う関係性が弱くなったりしています。

一方で、アンケート結果では支え合いに関心を持っている人がどの年代でも高く、この気持ちを行動に移すきっかけづくりが必要です。新しいことを始めるのではなく、ふだんの暮らしの中でお互いに気にかけて関係性を築く働きかけをおこないます。

社協ではこれまでも、地域でのお互いさまで助け合う仕組みについて話し合う場づくりを進めてきました。本計画でもその流れをさらに加速し、安心して暮らし続けられる支援体制の構築に取り組みます。

#### みんなで

- 希薄になりつつある隣近所との関係性を見直し、つかず離れず気にかけて合いましょう。
- 住み慣れた自宅で安心して暮らし続けていくために、ご近所同士お互いさまで助け合いましょう。
- 今ある活動を無理なく継続させる方法や、地域の困りごとを解決する方法について話し合う場をつくりましょう。

#### 社協で

活動項目	取り組み内容	連携・協働
① 身近な地域での見守りあいの推進 <b>重点項目</b>	★ 集落協議体*3、ブロック協議体*4の立ち上げと運営を引き続き支援し、地域の見守りあいを進めます。	健康福祉課 民生委員児童委員 介護サービス事業所 地域住民
② お互いさまの支えあいの仕組みづくり	★ 集落協議体などで、地域での助け合いの仕組みづくりを引き続き支援します。 断 支援活動の有償化など、支援を受けやすい体制づくりの検討を進めます。	健康福祉課 地域住民

#### コラム③ 『神河町の協議体』

神河町には、令和3年3月現在14の集落協議体が立ち上がっています。どの協議体でも、集落の課題を自分達で解決するために、いろんな意見とアイデアを出し合い話し合いを進めています。集落だけでは解決できないような課題はブロック協議体で話し合います。ブロック協議体は長谷地区に立ち上がっており、主に移動支援について話し合っています。町全体で考えるべき課題は、地域見守りささえあいネットワーク会議で検討します。この会議には団体の代表や郵便局、商工会、警察も参加し、いろんな立場から出来ることを考え、制度や施策に繋がります。

このように神河町の協議体は3層で組織されており、神河町に住む人が「ここに住んでいて良かった。」と思えるように、それぞれの協議の場で安全・安心の地域づくりを進めています。



\*3 集落協議体… 安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、集落の困りごとの解決のために住民主体で話し合う場。

\*4 ブロック協議体… 集落協議体では解決が難しい広域的な課題について、ブロックで話し合う場。



#### ④ 身近な困りごとをキャッチしてつなごう！

町内でも、低所得による生活困窮、ひきこもり、8050問題\*5など様々な生活課題や、社会的な孤立\*6を抱える世帯が見られます。支援が必要であっても孤立して発見されない人や、制度の狭間にあって支援から漏れてしまう人への対応が課題です。さらに、相談支援をおこなう行政の窓口や関係機関が分野別に対応することにより、さらに状況が悪化するケースもあります。

社協には、複雑化、複合化した生活・福祉課題を地域住民や関係機関と連携して一緒に課題を整理し解決していく体制を築くことが求められています。これまで社協が実施してきた相談事業を見直し、出前相談の強化など一人ひとりに寄り添った相談事業を進めます。また、社協だけでは解決できない問題も断らず、関係機関と連携しながら問題解決に努めます。

##### みんなで

- 困りごとをキャッチしたらそのままにせず、地域の民生委員児童委員や関係機関に繋ぎましょう。
- 困りごとをキャッチした時は、プライバシーに配慮しながらご本人の気持ちに寄り添いましょう。

##### 社協で

活動項目	取り組み内容	連携・協働
① 包括的*7な相談支援の強化  重点項目	☑️ どんなニーズもいったん受け止め、一人ひとりの困りごとに寄り添った対応をおこないます。	地域包括支援センター 総務課 住民生活課 介護サービス事業所 地域住民
	★ 悩みごとを相談しやすい環境づくりと職員の資質向上に努めます。	
	☑️ 職場内、行政、関係機関と協働して課題解決に努めます。	
② アウトリーチ*8による相談支援の強化  重点項目	☑️ 民生委員児童委員などとの連携のもと、職員が地域や個人宅に出向き、様々な相談に応じます。	民生委員児童委員 介護サービス事業所
③ 日常生活自立支援事業*9や生活福祉資金貸付事業*10の強化	★ 各事業を、悩みを抱える世帯への関わりの糸口として捉え、相談の奥にある生活課題を把握し根本的な課題解決に努めます。	健康福祉課 ワーカーズコープ 地域住民
	★ 相談者本人が持つ力を見極め、それを引き出し自立へ繋げる支援をします。	

\*5 8050問題… ハチマルゴーマル問題。80代の親が50代の子どもの生活を支えるという社会問題のこと。引きこもりの子を持つ家庭が高齢化し、50代の引きこもりの子を80代の後期高齢者となった親が面倒を見る事例が増えている。

\*6 社会的な孤立… 人間が社会的に孤立するということ。客観的に見て、その社会の中で居場所、社会的な安定性を持たない社会的集団についていわれる。独居生活を送っていても、家族や友人・知人との交流が保たれていれば社会的孤立とは呼ばれない。

\*7 包括的な… 全ての要素を広く網羅しているさま、総合的なさま。

\*8 アウトリーチ… 英語で手を伸ばすことを意味する。福祉などの分野における地域社会への奉仕活動、公共機関の現場出張サービスなどの意味で多用される。

\*9 日常生活自立支援事業… 認知症高齢者などの判断能力が不十分な人が自立した生活が送れるよう、社会福祉協議会が日常の金銭管理や福祉サービスの利用援助等を行なうもの。

\*10 生活福祉資金貸付事業… 経済的な課題を抱えている低所得世帯の中で、資金を貸し付けることにより、生活再建が見込まれる世帯に対して、必要な資金の相談と申込みの受付を行う事業。

## ⑤ 誰もが活躍する場をつくろう！

高齢者、認知症や引きこもりの人とその家族、障がいのある人など、地域に暮らす様々な人が生きがいを感じる場を増やします。

そのために、高齢者が役割をもって活躍することが介護予防に繋がることの啓発を継続してこない、高齢者の社会参加を促進します。また、令和2年度に開所した社協多機能型事業所\*2ひと花においては、利用者一人ひとりの持つ力を見極め育みながら、それぞれが持つ“花”を咲かせる支援をします。

### みんなで

- みんなの集いの場は参加者とボランティアが共に楽しむ意識を持ち、参加者がやりがいを持って活躍する機会を増やしましょう。
- 当事者の持つ力を活かし、誰もが役割と生きがいを感じる場づくりを進めましょう。

### 社協で

活動項目	取り組み内容	連携・協働
① 元気で長生きの促進 重点項目	★ シニアカレッジ*11や集い場などで、高齢者の社会参加と介護予防について啓発し高齢者の社会参加を促進します。	地域包括支援センター 教育課 ボランティア
② 障がいを持つ人などの持つ力を引き出し、活躍する場をつくります。 重点項目	☐ 多機能型事業所*12ひと花を中心に、一人ひとりが持つ力を活かした活躍の場づくりを進めます。	多機能型事業所ひと花 健康福祉課 当事者団体 地域住民 ボランティア



神河シニアカレッジ

多機能型事業所「ひと花」



\*11 シニアカレッジ… 高齢者大学のこと。

\*12 多機能型事業所… 生活介護、機能訓練、生活訓練、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型の事業のうち2つ以上の事業を一体的に行うこと。

## ⑥ みんなでボランティアの輪をひろげよう！

地域福祉活動を進めていくためには、地域活動やボランティア活動などの担い手を増やしていくことが大切です。しかし、若い世代のボランティア活動への関心が低くなっており、現在活動中のボランティアも年々減少してきています。

ボランティア活動が特別なものではなく、趣味活動や地域活動、ふだんの暮らしの中からも取り組めるよう、これまで児童・生徒を対象に展開してきた「ちょっといいこと運動<sup>\*13</sup>」を地域全体に広げ、あらゆる世代の皆さんが気軽にボランティア活動に触れる機会を増やします。

### みんなで

- 趣味活動や日常生活での気づきと思いやりを、ボランティア活動に結びましょう。
- 年齢に関係なく、出来る人が出来る時に出来ることをおこないましょう。
- 男性や若者も、持っている力を地域行事等で発揮しましょう。

### 社協で

活動項目	取り組み内容	連携・協働
① 町民総ボランティアの推進  <b>重点項目</b>	<div> <div> </div>           あらゆる年代や多様な主体のボランティアを育成し、町民総ボランティアを目指します。         </div> <div> <div> </div>           「ちょっといいこと運動」を小・中学生だけでなく地域全体に広めます。         </div>	商工会 学校 地域住民
② ボランティア情報の発信	<div> <div> </div>           身近な所でどんなボランティア活動がおこなわれているかを広報紙やケーブルテレビを通して情報発信します。         </div>	ボランティアグループ CATV

### コラム④ 『ちょっといいこと運動』

社協では、夏休みに町内の子ども達に「ちょっといいこと運動」を展開しています。「ちょっといいこと運動」は、誰もが持っている思いやりの気持ちを行動にあらわすことで、自分も周りにもあたたかい気持ちになる、そんな気持ちが町内にいっぱいになってほしいと進めている運動です。小さな子ども達は、道端に落ちているゴミを拾ったり、仕事や家事で忙しい家族を手伝ったり、自分にできることで周りが喜ぶ事を考えて行動します。それを見た保護者は子どもの成長を実感し、嬉しい気持ちになります。中学生や高校生も、誰かに助けて貰った時に感じた思いを、今度は違う誰かを助けることで優しさのバトンを渡します。

このようにして、日頃の暮らしの中で“ちょっといいこと”がたくさん生まれれば、町中が優しい気持ちでいっぱいになり、思いやりにあふれていきます。



社協ではこれからも、この「ちょっといいこと運動」を広く展開し、あらゆる世代の思いやりの心をさらに大きく育てていきます。

<sup>\*13</sup> ちょっといいこと運動… 誰もが心の中に持つ思いやりの気持ちを行動に表すことを推進する運動。現在、町内の小・中・高等学校で推進している。



## ⑦ 先への不安を取り除く福祉活動を展開しよう！

「自分や家族に介護が必要になったらどうしよう。」「運転免許証を返納したらたちまち困る。」これはアンケート結果からもわかるように、高齢者だけでなくたくさんの方が不安に感じていることです。そのような状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、福祉サービスを充実させていく必要があります。

社協の既存事業の見直しを図り、住民ニーズに沿った新たな取り組みを関係機関と連携しつつ進めていきます。

みんなで

- 介護サービスを利用するようになって、気にかけてくれる関係を継続しましょう。
- お米や、未使用の品物の寄付を通して、生活にお困りの方を支援しましょう。

社協で

活動項目	取り組み内容	連携・協働
① 災害時やコロナ禍においても安全で確実なサービスの提供	★ 災害時やコロナ禍でもしっかりとした対策を施し、安全で確実なサービス提供に努めます。	介護サービス事業所 地域住民
② 質の高い介護サービスの提供と介護職員の研修・育成	★ 介護資格取得者が増えることで、町内の介護事業所の人材不足が解消し、また高い介護技術と知識を備えることで安定雇用につながるよう、介護職員の養成講座（初級編・中級編）や介護福祉士取得サポート講座を開設します。	介護サービス事業所
③ 現行の福祉サービス事業の見直しと必要な福祉サービス事業の開発	★ 現行事業の見直しと、必要に応じて充実を図り、より効果的な事業展開を目指します。 ★ 相談活動でニーズを把握するなどし、求められる福祉サービスの検討と開発に、より積極的に取り組み、先への不安を取り除く福祉サービスを展開します。	商工会 地域住民
④ 生活困窮者への支援の強化	★ お米の寄付や、未使用で不要な食料品や衣類などを寄付してもらい安価で販売する福祉ぷちショップを適時開催し、生活困窮者の緊急支援に活用します。 ★ 生活保護担当課やワーカーズコープ <sup>*14</sup> との連携と協働による生活困窮者の自立生活の支援を強化します。	健康福祉課 ワーカーズコープ 健康福祉事務所 商工会 地域住民

重点項目



お買い物送迎の様子

\*14 ワーカーズコープ… ひょうご暮らしと仕事のよりそい支援センター。生活の中で困っている事や心配なこと、働いている中での悩みごとなど、様々な問題に対し、解決策を一緒に考えたり、サポートしたりする相談窓口。

## ⑧ 地域で防災・減災に取り組もう！

近年多発している自然災害への対応として、自助、共助の取り組みが求められています。防災意識の向上とともに、地域でのふだんの見守り助け合いの意識を高めることが災害被害の軽減の大きな力となります。そのため、地域での災害への備えや取り組みについて、協議体を中心に検討していきます。

また、災害時に運営される災害ボランティアセンター\*15についても、町内だけでは不足している災害ボランティアの確保を含めて、近隣町と連携した取り組みが進められるよう引き続き検討します。あわせて、災害時など危機的な状況でも住民の不安を少しでも取り除くために必要な福祉サービス及び介護サービスを滞りなく提供するための方策を検討します。

みんなで

- 日頃から隣近所との繋がりを大切にし、災害時の共助がスムーズにおこなえるように心がけましょう。
- 避難経路や避難所を確認しておくなど、防災・減災に対する関心を高めましょう。

社協で

活動項目	取り組み内容	連携・協働
① 防災・減災意識の向上の促進  <div>重点項目</div>	<div> <div> </div> <div> </div> </div> <div> <div> </div> <div> </div> </div>	<div> </div> <div> </div>
② 災害時の対応	<div> </div> <div> </div>	<div> </div> <div> </div>
③ 事業継続計画（BCP） *16の検討	<div> </div> <div> </div>	<div> </div> <div> </div>



## 災害ボランティア活動の様子



\*15 災害ボランティアセンター… 主に災害発生時のボランティア活動を効率よく推進するための組織。被災した地域の社会福祉協議会やボランティア活動に関わっている関係団体、行政が協働して担うことが多い。主な役割としては、被災地でのニーズの把握、ボランティアの受入れや人数調整・資機材の貸し出し、活動の実施、報告など。

\*16 事業継続計画（BCP）…BCPとは事業継続計画（Business Continuity Plan）の頭文字を取った言葉。企業が、テロや災害、システム障害や不祥事といった危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方策を用意し、生き延びることができるようにしておくための戦略を記述した計画書のこと。